

《質疑応答》

【宇城市生活用具支援券の交付】

問 熊本県内では初ということですが全国的にはどうでしょうか。

答 熊本県内では初めてですが、全国では確認できておりません。

問 財源は自主財源からでしょうか。

答 そうです。

問 交付しようとした思いや背景を教えてください。

答 仮設住宅がみなしも含めて約75戸ありました。そのときにはエアコンや家電製品も揃った状態で入っていただきました。今回仮設から復興住宅に引っ越しをなさるときにはエアコンも何もありませんで、引っ越し費用もそれなりにかかります。仮設住宅の期限も迫っておりまして、引っ越し代や家電製品を買うのに相当負担が大きいというご意見が強かったので、今回一般財源をもって25万円の制度を作らせていただきました。

問 被災者の皆様からのアンケートや声があつての要望ということでしょうか。

答 はい。引っ越し費用が大変だというご意見が強かったです。

問 支援金が25万円ということですが、これは家族構成に関わらず25万円ということでしょうか。お子様がいてもいなくても25万円ということでしょうか。

答 （商工振興課）災害公営住宅に入居される場合には何もありませんので、照明、エアコン、カーテン、ガスコンロ等の生活をするための資金として25万円ということで、一人世帯でもご家族がいても同一ということになります。

問 既に入居されている方には後からでももらえるのでしょうか。

答 もちろん遡ってお渡しさせていただきます。

問 現在の入居状況を教えてください。

答 （都市整備課）現在完成しているのが98戸あります。そのうち入居されているのが60世帯です。入居率としては60%程度です。

問 あえて商品券にされたということは市内の経済の発展にもつなげるという思惑があるのでしょうか。

答 もちろんその通りです。

問 予算措置はもう済んでいるのでしょうか。

答 済んでいます。

問 6月議会でしょうか。

答 当初予算です。

【ふるさと納税の返礼品として電子感謝券のスタート】

問 「QRコードによる決済となるため、クレジットカードのような新たなカードリーダー等の導入は不要」という記載がありますが、QRコードを読み込むための機器は必要ないのでしょうか。

答 （企画課）利用者の方のスマホにポイントが付与されますので、それをお店に持って行ってお店に提示してあるQRコードを読み取り、金額を入力して決済します。お店の方はスマホの画面を確認して決済終了ということになります。

問 登録準備中店舗の記載がありますが、運用開始時点でも準備の段階なのでしょうか。

答 （企画課）現在手続き中ですので7月1日までにはもう少しかかると思いますが、1店舗でも多くなるよう現在手続きを進めています。

【光ファイバの整備拡大】

質疑なし

【観光振興戦略の策定】

問 宇城市として観光に特化したビジョンを策定するのは今回が初めてなのでしょう。

答 （総合政策監）観光に特化した戦略という意味では初めてになります。もちろん、まち・ひと・しごと総合戦略の中で一部として観光に触れていたり、総合計画の中に観光部門に触れている例はありますが、観光に特化した計画や戦略という意味では初めてになります。

問 それだけ重要視されているということでしょうか。

答 （総合政策監）総合計画、あるいはまち・ひと・しごと総合戦略の中に、これから稼げる観光地域作りを目指すというフレーズがあります。これに向けては産官学が連携してどういった形で進めていかなければならないのか、そういう目標やターゲットを設定した上で取り組んでいくためには、どういった施策が必要かということを検証した上で取り組まなければいけません。こういった観点から今回取り纏めて具体的な重点プロジェクトも掲げているところではあります。

（市長）世界遺産の三角西港もございまして、東港も熊本県に整備していただきました。東港では寺島にベストアメニティさんが1日に200人から300人が泊まれるグランピングというキャンピングカーを導入します。松橋には宇城彩館という物産展がありますが、これは熊本県で一番の売り上げを誇っております。またウイング松橋は体育館とホールがあり、駐車場の700台もありますので、熊本県内でもかなり回転率の良いところではあります。宇城市は、交流人口は大きいものがあるのですが、なかなか稼げるというところまではいかないものでして、その中で稼げるためにはギアチェンジを頑張りたいというところではあります。

【復興グランドデザインの策定】

問 強いて目玉を挙げるとしたらどのような点でしょうか。

答 （市長）道路としてはリバーサイドロードを作らせていただきますし、宇城市は他の市に比べて九州縦貫道、鹿児島本線がございまして、松橋駅・小川駅・三角駅、公共施設は民間導入も含めて誘致しながら復興に向けて頑張りたいという趣旨であります。

（総合政策監）5頁に重点プロジェクトが掲げられております。基本的にはそれぞれの地区ごとに重点的に取り組む施策が掲げられています。

問 これを実現するためには財政的に随分苦勞するのではないかと思います、どうでしょうか。

答 宇城市は15年ほど前に合併いたしました。その時点では合併特例債の範囲が330億円でしたが、そのときは半分を10年で使うということにしました。そして10年後に5年延びました。そしてまた今年5年延びまして合併特例債の期限が合計20年になりました。その中で半分を使うという予定でしたが、やはりここは地震によって復興しなければならないところがありますので、20年で300億円近いものをもってやると、その中で当初は150～160億円を合併特例債でということでしたが、もう今15年経ちましたので100億近くは返済しました。そのため、財政状況は15年前よりも良いであろうと考えております。その中で合併特例債の全体を使ったこのグランドデザインでございまして、当初私が就任したときには、100万～200万円のふるさと納税が今は3億円を超えておまして、これを毎年伸ばすなり維持しながら、その財源をなるべく教育の方にも向けていきたいと考えておまして、決して財政的に厳しいものではないという考え方であります。

【地域商社事業の取り組み】

質疑なし

【財政調整基金の運用状況】

問 26年から購入をされているということによろしいでしょうか。

答 （会計課）25年から購入しています。25年に購入したものを一度売却して26年にまた購入し、26年に購入したものを今回売却したということです。

問 今回の運用益はどのような形で使用する考えでしょうか。

答 結果が出たばかりですので今は作戦を練っているところです。

【（追加質問）ふるさと納税の返礼品として電子感謝券のスタート】

問 ふるさと納税について地元のものだけを返礼品にすることで宇城市として困ったことはありましたでしょうか。

答 （市長）今一番売れ行きが良いのは肉でございます。馬刺しを中心として。どんどん総務省が厳しい基準を出していかれる中、馬刺しは本当に宇城市の産物であるのかというところ、今回それで自分もちょっとヒヤッとしたのですが、豊野で全部屠殺して製品としているところで、そのときやはりヒヤリとしましたし、地元のものであるかがかなり最近厳しく問われておりますので。電子感謝券につきましては、宇城市のものを買求めるときにしか使えないので、それと商品券は流通性がありますが、ふるさと納税をした本人のその携帯にしかポイントが貯まらないということで、総務省でもOKの範囲内というところがございます。

（企画課）補足です。返礼品で困ったことですが、一部宇城市外で作成されているお菓子がありましたので、それは今回の制度改正に合わせて返礼品から除外しています。

問 現在はゴルフ場が中心のようですが、今後またいろんなお考えはあるのですか。

答 ゴルフが一番分かりやすいので自分が勝手にゴルフだと言っただけですので、ぜひ物産館を始め、今後寺島で宿泊ができるのなら、それで支払っていただきたいと考えています。

【（追加質問）復興グランドデザインの策定】

問 グランドデザインの中の大野川リバーサイドロードですが、今年度から具体的に着手されていると思いますが、どれくらいを目途に整備を完了する予定でしょうか。

答 合併特例債はあと5年でございますので、それで完成するというスパンではございません。今後10年以上という中でやっていきたいのですが、合併特例債のできる範囲内で、そして土地収用も含めて、基本的なところをなるべく手を付けたいという考えでございます、まだ具体的に云々とまでは言えません。

問 補正予算の中の持続するマチづくりの中に、松橋駅周辺開発推進事業に1億8千万円ほど計上されていますが、具体的に松橋駅周辺をどのように開発していくのか大まかに教えていただけないでしょうか。

答 （都市整備課）グランドデザインの11頁にある駅前ロータリーの整備が今回の補正の大部分です。